

令和 4 年度

事業報告書



社会福祉法人きらめき会

特別養護老人ホーム 八潮いこいの里
小規模多機能型居宅介護 横浜いこいの里
特別養護老人ホーム 若葉いこいの里

1. はじめに

=====法人理念=====

笑顔

「利用者様への笑顔」 「ご家族様への笑顔」
「地域への笑顔」 「自分への笑顔」

=====ビジョン=====

「地域を笑顔にする」

地域の人と

コミュニティを構築し

地域に愛される施設を目指す

=====運営方針=====

- 一. 基本に忠実であること
- 一. 積極的に物事を考える事
- 一. 心のこもった行動をすること

■法人事業概要

◇事業所名

特別養護老人ホーム 八潮いこいの里

〒340-0824 埼玉県八潮市坂 526-1

◇事業開始日

平成 30 年 4 月 1 日

◇事業内容

介護老人福祉施設 定員：従来 30 名 ユニット 90 名 計 120 名

短期入所生活介護（空床利用）

◇事業所名

小規模多機能型居宅介護 横浜いこいの里

〒245-0015 神奈川県横浜市泉区中田西 4 丁目 2 番 43-2

◇事業開始日

平成 22 年 4 月 1 日

◇事業内容

小規模多機能型居宅介護

登録定員：29 名 （内通所：17 名 泊り：8 名）

◇事業所名

特別養護老人ホーム 若葉いこいの里

〒264-0021 千葉県千葉市若葉区若松町 531-156

◇事業開始日

令和 3 年 4 月 1 日

◇事業内容

介護老人福祉施設 定員：80 名

短期入所生活介護 定員：20 名 合計：100 名

◇事業所名

特別養護老人ホーム 横浜旭いこいの里

〒240-0012 神奈川県横浜市旭区西川島町 118 番 13 他 20 筆

◇事業開始日

令和 7 年 5 月 1 日 開所予定

◇事業内容

介護老人福祉施設 定員：200 名

短期入所生活介護 定員：20 名 合計：220 名

2. 令和4年度 事業報告について（1年を振り返って）

はじめに、社会福祉法人きらめき会を温かく見守り、支えていただいております皆様に心から御礼を申し上げます。令和4年度の事業報告書がまとまりましたので、ここにお届けいたします。

ロシアが昨年2月24日、ウクライナに対し戦争を仕掛け、国際情勢は一気に不安定になりました。ウクライナに侵攻してから1年になりますが、今でも激しい戦闘が各地で続いており、犠牲者が増え続けています。戦争の長期化によって、エネルギーや原材料価格の高騰につながり、日本にも記録的な物価高をもたらし、生活への影響が続いています。昨今の環境変化は激しく、あらゆるものを取り巻く環境が複雑化し、コロナ・戦争・災害などの予期せぬ事態が発生し、将来を予測することが困難になっています。こうした不安定な事業環境においては、「変化に追従」することではなく「変化に主体的に取り組むこと」が必要になります。今までの経験にとらわれず、スピードを意識し、緊張感を持って経営にあたる覚悟です。

当法人は2022年に横浜市の特養整備事業者に選定されました。計画地は横浜市旭区西川島町の鶴ヶ峰駅より徒歩9分の場所にあります。本計画地は、目の前に大きな病院があり、充実した医療を補完する環境があります。当法人では、医療のニーズも高まっていることから、既存施設では、基準人員以上の看護師を配置し、夜間も看護師を配置するなど医療体制を強化し、医療ニーズが高い利用者様を積極的に受け入れております。今計画でも地元横浜の皆様が慣れ親しんだ地域で最期まで生活できる支援の一翼を担いたいと考えております。

「地域を笑顔にする」。我々のビジョンを実践すべく、地域で暮らす人、福祉を必要としている人に向き合い、最前線で働く人を全力で支えます。我々は、ひとりひとりの暮らしを良くする実践を重ねてまいります。引き続き皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます

令和5年4月

社会福祉法人きらめき会
理事長 久岡 重樹

特別養護老人ホーム 八潮いこいの里

1. 職員状況

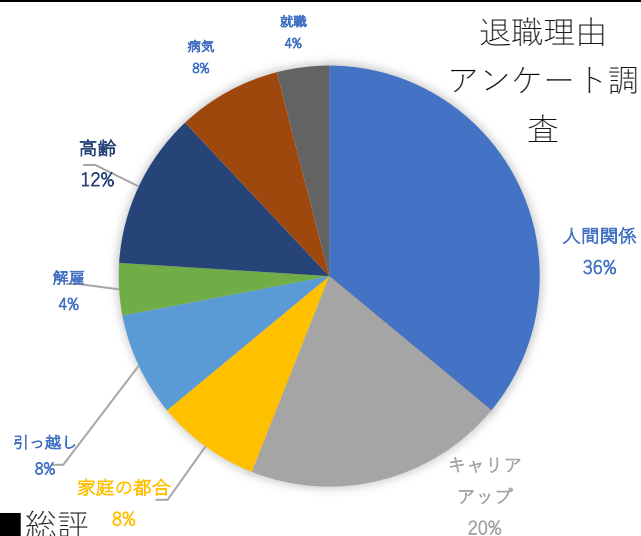
(R5.3.31 現在)

	施設長	事務長	副施設長	介護支援専門	生活相談員	管理栄養士	機能訓練指導	看護師	介護職員	事務員	宿直	清掃員	合計
職員数	1	0	0	3	3	3	3	5	66	4	2	4	94

※職員数は非常勤（パート職員）を含む

令和 4 年度職員雇用推移 ※R5.3.31 職員在籍数⇒94 名

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
常勤	採用者数	0	2	0	0	0	0
	退職者数	1	1	0	1	0	2
非常勤	採用者数	1	0	0	1	1	1
	退職者数	0	0	1	0	1	0
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
常勤	採用者数	0	2	2	0	2	2
	退職者数	2	0	1	2	2	2
非常勤	採用者数	0	0	0	1	0	1
	退職者数	1	0	0	0	1	1



		合計
常勤	採用者数	10
	退職者数	14
非常勤	採用者数	6
	退職者数	5
離職率	起算日 (R5.3.31 現在) ※常勤職員で計算	17.9%

総評

昨年度に比べ離職率は 11% 程度増加した。退職は続いているが、介護職は特定技能の外国人も採用し、出入りのバランスは取れている。今後も、良い人材については採用を進め、全体の職員バランスを考えながら慎重に検討する。最後に、職員が働きやすく、辞めにくい環境になるよう行動していく。

その中でも、看護師の採用が困難を極めており、派遣や紹介などを活用して常勤換算を確保してきた。3 月末に常勤の看護師が 2 名入ってきたことで、看護師の採用は安定してきている。

2. 会議・委員会・研修

会議名	参加者	実施状況	内容
経営会議	施設長/役職者	12 回/年	・施設運営に関する業務進捗・結果等の報告 ・検討事項の意思決定 ・運営に関する問題事項の改善論
リーダー会議	役職者/ユニットリーダー	12 回/年	・役職者からの連絡事項 ・ディスカッション ・各専門職からの連絡事項 ・経営会議決定事項の周知
ユニット会議	ユニットリーダー/介護職員	12 回/年	・ユニットの問題定義・解決案 ・ユニット推進のための勉強会 ・24 時間シートの作成
給食会議	役職者/ユニットリーダー	12 回/年	・フジ産業の責任者を交えた問題定義・解決案 ・介護現場との連携確認
ケアマネ相談員会議	役職者/ケアマネ・相談員	12 回/年	・入居状況や入院者の確認 ・現状課題の検討 ・待機者の確認 ・営業状況の確認
医務会議	役職者/看護職員	12 回/年	・医務の中での問題定義・解決案 ・業務改善策の模索

委員会	実施状況	内容
入所判定委員会	12 回/年	サービスを受ける必要性が高いと認められる者を優先的に入居させるために、入居決定過程の透明性・公平性を確保し判定を行う。
事故防止検討委員会	12 回/年	事故報告、ヒヤリの件数周知。再発防止のため事例検討会を行う。
褥瘡予防・感染予防委員会	12 回/年 +随時	褥瘡ができるまでの原因を探り、プレデンスケールを行う。 感染症及び食中毒予防蔓延防止のために研修や勉強会を行う。 コロナの感染対策のため、随時開催をした
ケア向上委員会	12 回/年	入居者へのケアを見直し、検討・実践行う。
サービス向上委員会	12 回/年	施設全体行事や、クラブ活動の立案・実践を行う。
ユニット推進委員会	12 回/年	ユニットを推進するための勉強会や 24 時間シートの作成を行う。
衛生管理委員会	12 回/年	職員健康管理やストレスチェック行い健康推進を行う。
防災委員会	12 回/年	災害時の対応確認。災害をシュミレーションし職員連絡網作成。
身体拘束適正化・高齢者虐待防止委員会	5 回/年	どんなことが拘束になるのか。再復習と共通認識を図った 高齢者虐待のマニュアル作成。委員会内の勉強会の開催

■スキルアップ（内部）研修の開催

4 月	高齢者虐待、中堅職員研修
5 月	オムツ研修
6 月	入浴、苦情処置、接遇、とろみ研修
7 月	看取り、虐待、業務改善研修
8 月	高齢者虐待研修（外国籍）
9 月	

10 月	
11 月	移乗介助、事故・ヒヤリハット研修
12 月	
1 月	
2 月	身体拘束、ベテラン研修
3 月	コミュニケーション研修（外国籍）

■外部研修・セミナーへの参加

4 月	
5 月	
6 月	
7 月	
8 月	
9 月	

10 月	
11 月	
12 月	
1 月	
2 月	
3 月	

3. 行事・レク

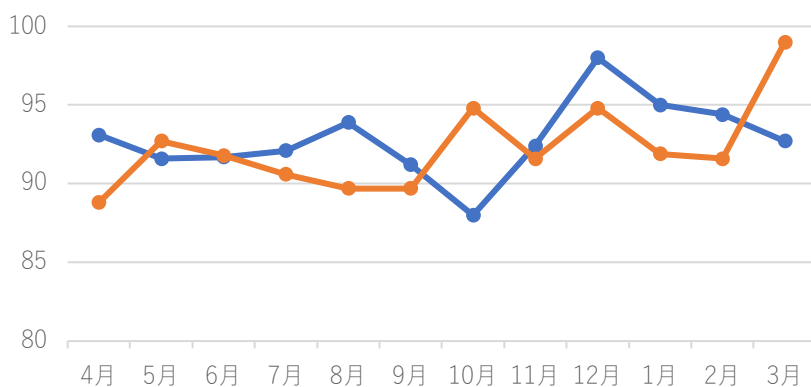
4 月	
5 月	ちらし寿司作り
6 月	
7 月	
8 月	ハワイアンパーティー
9 月	お月見
10 月	花火レク
11 月	クレープ作り
12 月	クリスマス会
1 月	
2 月	恵方巻づくり
3 月	お花見

4. 実績報告

■稼働率推移・・・安定した経営を目指すため、年間常時 95%以上

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
ユニット (定員:90 名)	延べ日数	2515	2557	2478	2571	2620	2463
	稼働率	93.1%	91.6%	91.7%	92.1%	93.9%	91.2%
従来 (定員:30 名)	延べ日数	800	863	827	843	835	808
	稼働率	88.8%	92.7%	91.8%	90.6%	89.7%	89.7%
全体合計		稼働率	92.0%	91.9%	91.8%	91.7%	92.8%
		90.8%					
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
ユニット (定員:90 名)	延べ日数	2456	2496	2735	2653	2379	2587
	稼働率	88.0%	92.4%	98.0%	95.0%	94.4%	92.7%
従来 (定員:30 名)	延べ日数	882	825	882	855	770	921
	稼働率	94.8%	91.6%	94.8%	91.9%	91.6%	99.0%
全体合計		稼働率	89.7%	92.2%	97.2%	94.3%	93.7%
		94.3%					

(参考) 稼働率推移

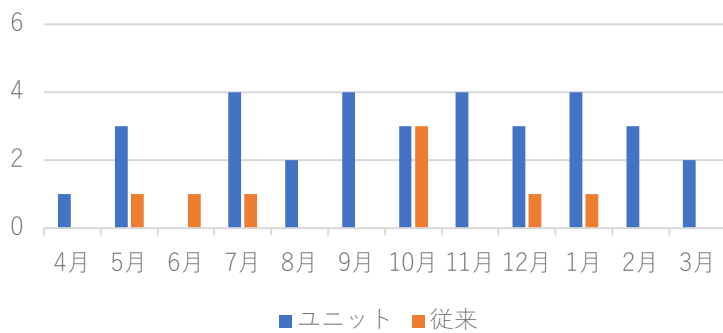


R 4 年度実績		合計
ユニット (定員:90 名)	延べ日数	30510
	稼働率	92.8%
従来 (定員:30 名)	延べ日数	10111
	稼働率	92.2%
全体合計		稼働率 92.7%

■入退去状況

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
ユニット	入居	1 名	1 名	4 名	1 名	5 名	2 名
	退去	1 名	3 名	0 名	4 名	2 名	4 名
従来	入居	1 名	1 名	2 名	0 名	0 名	2 名
	退去	0 名	1 名	1 名	1 名	0 名	0 名
		10 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
ユニット	入居	3 名	7 名	5 名	3 名	2 名	2 名
	退去	3 名	4 名	3 名	4 名	3 名	2 名
従来	入居	0 名	1 名	1 名	2 名	1 名	0 名
	退去	3 名	0 名	1 名	1 名	0 名	0 名

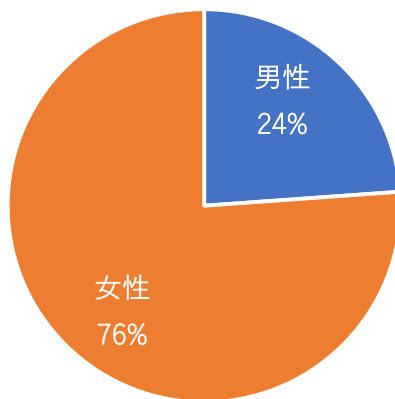
(参考) 退去者数推移



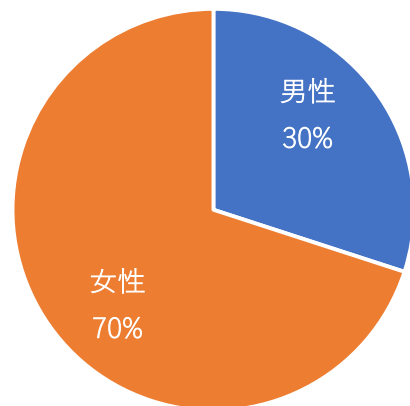
R4 年度入退去者		合計
ユニット	入居	36 名
	退去	33 名
従来	入居	11 名
	退去	8 名

■入居者男女割合 (R5.3.31 現在)

ユニット

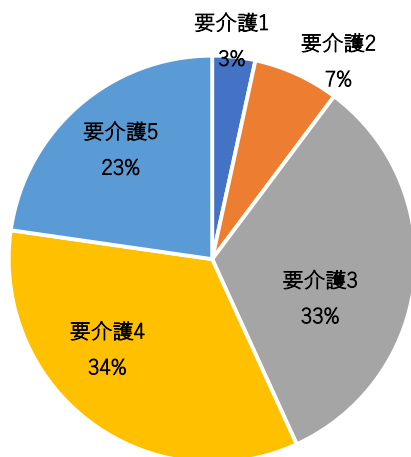


従来

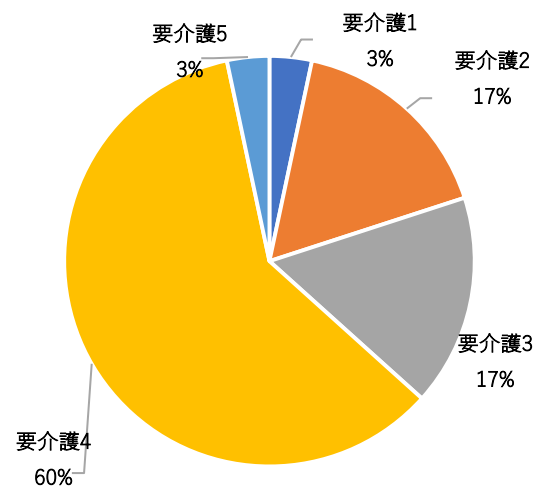


■入居者要介護割合 (R5.3.31 現在)

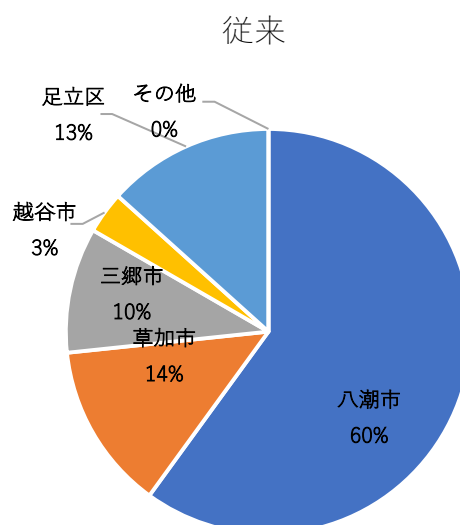
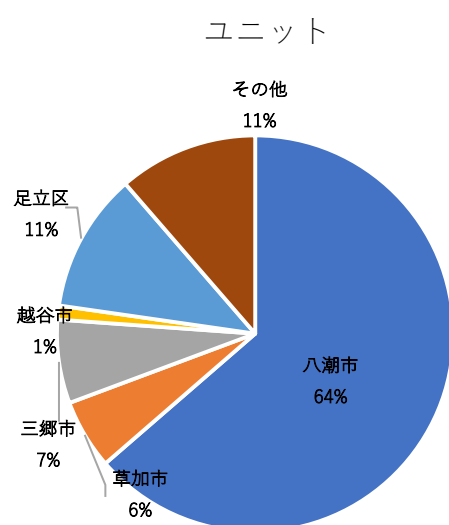
ユニット



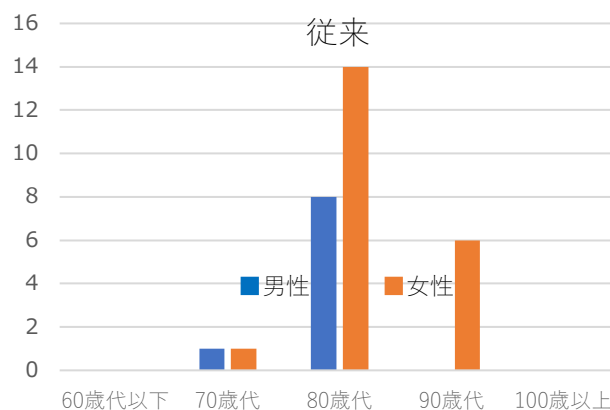
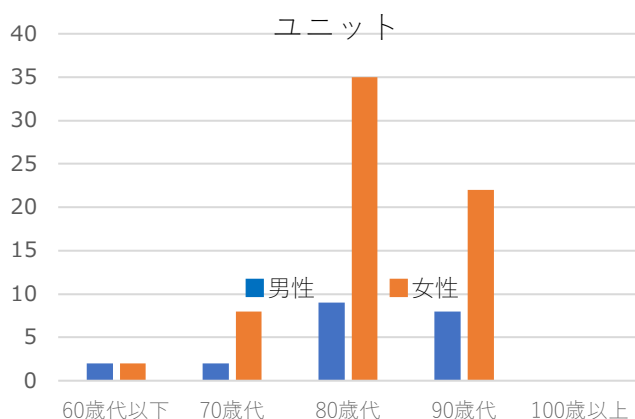
従来



■保険者別入居者割合（R5.3.31 現在）



■入居者男女年齢別状況（R5.3.31 現在）



■総評

4年度も、3年度に続きコロナウイルス感染に注意しながら生活することを余儀なくされた1年であった。今年度は、8月、12月、1月と3回のクラスターが発生。3回発生した中で、従来型でクラスターが発生してしまったため、対応が非常に困難であった。4床が7部屋あり、一人の陽性者が発生すると、続々と感染していき入居者のみで26名の感染者が出てしまった。原因は大きく二つと考えている。①個室でなかった事 ②外国籍職員が多かったこと。と捉えている。特に②の方は伝え方と捉え方によっては、適切な指示が不適切になってしまうケースも大いにあった。その他として、居室移動をしなければいけない場面もあった。多床室から個室への移動、個室から多床室、陰性の方から陽性者への居室移動などで情報共有がうまく出来ていなかったことで混乱が生じてしまった。初期対応は出来ていたが、外国籍職員への伝達が不十分だったことが大きな反省点である。

令和5年5月8日より、コロナが5類に引き下げられることにより、マスクの着用や外出の自粛なども緩くなることで、感染対策に対しての意識が薄くなることが予測できる。ご家族の面会や入居者の外出の要望等も聞かれる事になると予測できるが、可能な限りご要望に応じていきたい。また、職員や入居者の感染対策は、手洗い、うがい、マスクの着用などは継続して実施していく。

クラスターの発生により、研修関係も十分に行うことが出来なかった。5類への移行後は、集合型研修も増えてくることが予想できるため、職員の外部研修に参加をさせていきたい。

全体の稼働率は、3年度と比べて2.5%も落としてしまった。施設長の判断ミスと相談員との連携不足、加算の算定に目を向けすぎてしまった事で、稼働率が低くなってしまった。4年度10月より、営業の方に力を入れることとなり11月より徐々に稼働率が上がり始めて来た。3月は落ち込んでしまったが、入居予定だった方が急遽キャンセルとなり、このような事への備えも必要だと感じた。

最後に、4年12月に介護職員による虐待事例が発生してしまった。虐待をしてはいけない事や接遇には十分注意するように指導していたが、指導が不十分であった。令和5年4月より、虐待防止に対する研修が始まっており、全介護職員を対象に倫理や介護に対する考え方、入居者の対応困難な方への支援方法を検討する場を設けている。職員により、介護の質に差があることや入居者への理解が足りないこと、職員の入退職により介護現場に負担を掛けてしまったことも反省すべき点である。

5年度は、虐待防止や職員の定着率を上げるような取り組み、入居者へのサービスの質の向上が出来るようにしていきたい。

小規模多機能型居宅介護 横浜いこいの里

1. 職員状況

令和 5 年 3 月 31 日現在

	管理者	主任	看護師	介護職員	運転手	介護支援専門員	合計
職員数	1	1	2	10	2	1	17

■雇用形態内訳

常勤職員：6 名

非常勤職員：11 名

※職員数は非常勤（パート職員）を含む

■令和 4 年度職員雇用推移

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
常勤	採用者数	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
	退職者数	0 名	0 名	0 名	1 名	0 名	0 名
非常勤	採用者数	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
	退職者数	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
		10 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
常勤	採用者数	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
	退職者数	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	0 名
非常勤	採用者数	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
	退職者数	0 名	0 名	1 名	0 名	1 名	0 名

		合計
常勤	採用者数	0 名
	退職者数	1 名
非常勤	採用者数	0 名
	退職者数	2 名
離職率	起算日 ※R5.3.31 ※常勤職員で計算	5.8%

■総評

本年度は、技能実習生（ミャンマー）が自習期間を終了し退職。昨年に続き職員のメンタルケア、個人面談を重点的に行ってきたが、本年度離職者 2 名。高齢、ご家族の介護にてドライバー 2 名より希望退職を受ける。ドライバーの退職により送迎が困難な時期が続いたが、応募によりドライバーの採用が出来た。

次年度は離職 0 を目指し、働きやすい環境作りと職員からの意見交換を実施していく。

2. 会議・委員会・研修

会議名	参加者	実施状況	内容
経営会議	法人本部/管理者	12 回/年	・施設運営に関する業務進捗・結果等の報告 ・検討事項の意思決定 ・運営に関する問題事項の改善論
運営推進会議	泉区役所・町内会長・民生委員・管理者、ケアマネ	6 回/年	・活動報告 ・登録者の状況 ・地域への情報提供 ・運営方針
全体会議	全職員	24 回/年	・研修参加の発表 ・モニタリング
サービス会議	主任/介護職員	12 回/年	・係の役割が行われているかの確認

■スキルアップ研修の開催

4 月	ウイルス対策	10 月	バイタルチェックについて
5 月	口腔ケアの指導	11 月	接遇研修 リスクマネジメントの必要性。
6 月	事故報告書の作成	12 月	レクリエーションの指導
7 月	感染症対策	1 月	感染症対策
8 月	感染症対策	2 月	薬の服薬確認の指導
9 月	行事を考える。	3 月	接遇研修

■外部研修・セミナーの参加

4 月		10 月	
5 月		11 月	
6 月		12 月	
7 月	精神疾患の基礎知識	1 月	
8 月	尊厳を大切にしたい排泄ケア ～排便障害について～	2 月	精神疾患の基礎知識、パーソナリティ障害、発達障害について
9 月		3 月	

3. 行事・レク

4 月	お花見ドライブ、お誕生日会（フロアーにて食事会お花見お弁当）
5 月	子どもの日、鯉のぼりに見立てたデザート作り。母の日（プレゼント）誕生日会
6 月	父の日（プレゼント）、誕生日会
7 月	短冊に利用者様、ご家族様、職員に願い事を書いていただき、笹に飾りつけ。七夕デザート、誕生日会
8 月	疑似旅行（利用者様が旅行に行った気分を味わって頂く企画）
9 月	敬老の日のお祝いの食事会をフロアーで開催、誕生日会
10 月	フロアーにてハロインのおやつ提供。誕生日会
11 月	誕生日会 アロマハンドマッサージ
12 月	クリスマス会、「やーるーず」による三味線演奏会、誕生日会
1 月	お正月、新年会、アロマハンドマッサージ 誕生日会
2 月	節分、豆まき、ケーキで恵方巻を利用者様と職員で作る 誕生日会
3 月	桃の節句、フロアーにてお花見&食事会、誕生日会

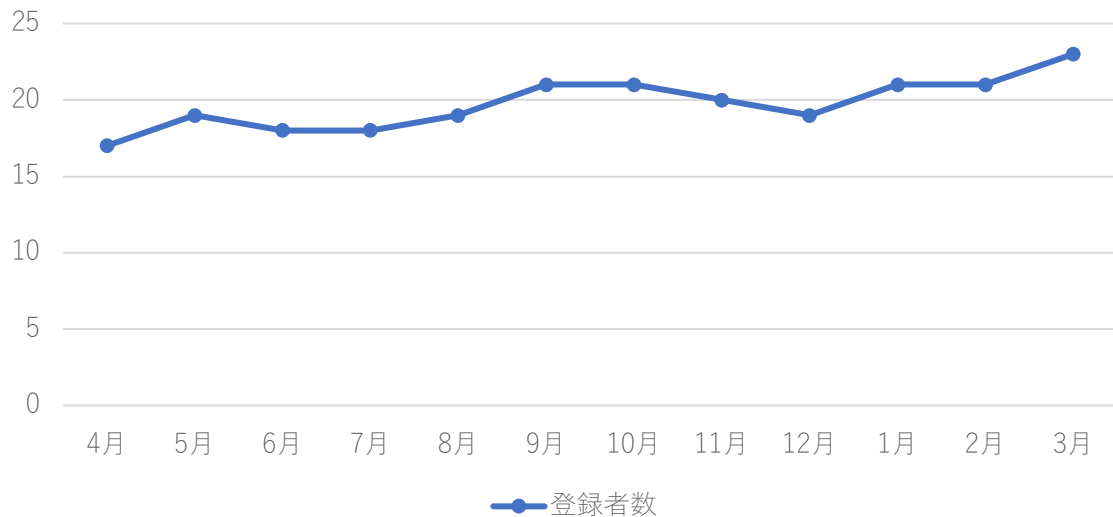
4. 実績報告

■登録状況について

1) 登録定員は 29 名（内通い 17 名、泊り 8 名）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
登録者数	17	19	18	18	19	21	21	20	19	21	21	23
増	0	3	0	0	1	2	0	0	0	2	0	2
減	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0

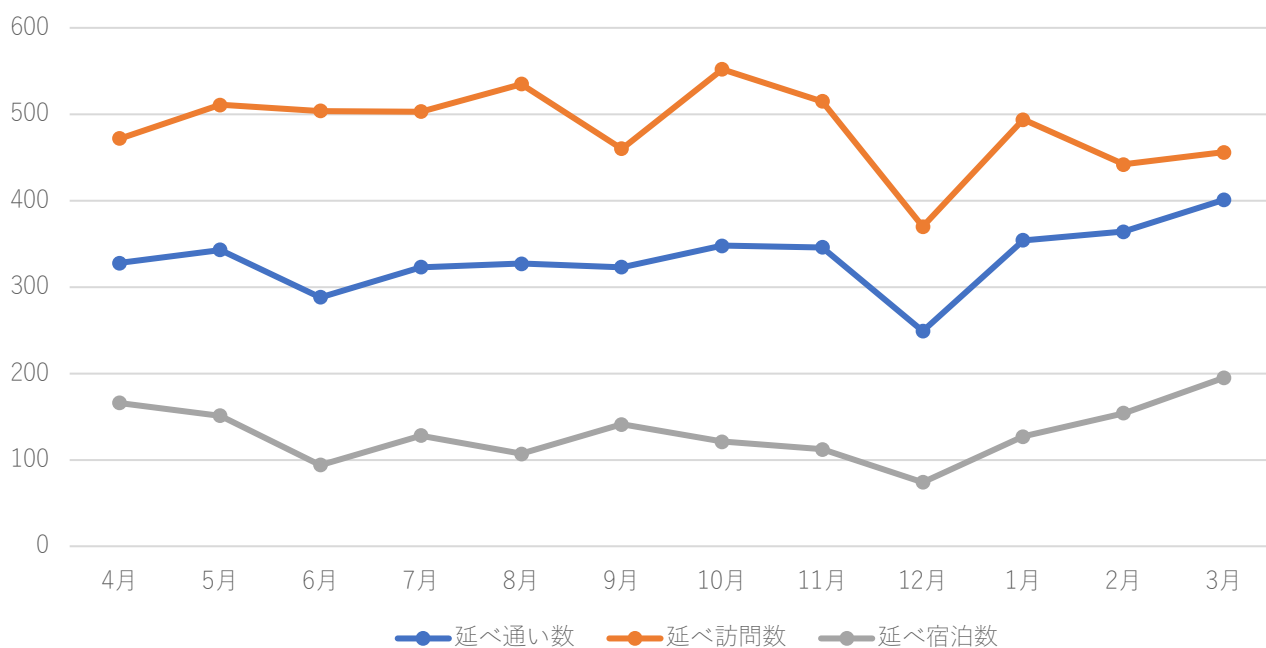
令和4年度 登録者数推移



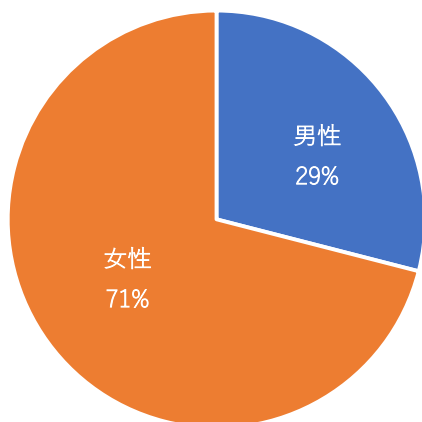
■サービス提供状況について

1) 各月別延サービス利用回数及び一日当たりの平均利用回数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ通い数	328	343	288	323	327	323	348	346	249	354	364	401
平均数/1 日	10.9	11.0	9.6	10.4	10.5	10.7	11.2	11.5	8.0	11.4	13.0	12.9
延べ訪問数	472	511	504	503	535	460	552	515	370	494	442	456
平均数/1 日	15.2	18.4	16.8	16.2	17.2	15.3	18.4	17.1	11.9	15.9	15.7	14.7
延べ宿泊数	166	151	94	128	107	141	121	112	74	127	154	195
平均数/1 日	5.3	4.8	3.1	4.1	3.4	4.7	3.9	3.7	2.3	4.0	5.5	6.2

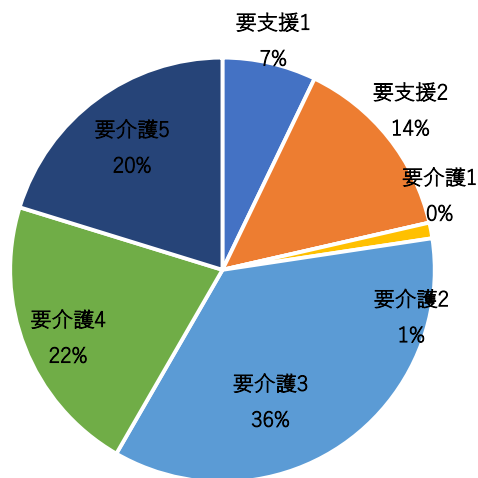


■入居者男女割合



■入居者要介護割合

(平均介護度 3.2)



■総評

昨年に続きコロナウィルスの対策への指針の明確化、感染予防対策の徹底をしたが、R4.年 11 月末に訪問の利用者様から感染者が出て、対応した職員からも感染者が出てしまい、それに伴い職員の感染が 10 名。泊まりの利用者様から 2 名、合計 13 名の陽性者を出してしまった。ご家族様にすぐに連絡を取りご理解・ご協力頂き通いを休止とした。泊まり以外の利用者様からの感染は防ぐ事は出来た。自宅へ帰る事が出来ない泊まりの方もあるので、八潮いこい里・若葉いこいの里より夜勤対応のヘルプを依頼。皆のヘルプもあり無事終息したが、感染対策の甘さが浮き彫りになった。今後は、感染対策の実践的な研修を取り入れ感染対策の強化を図る。

営業に関しては、下半期より営業強化のため、法人本部顧問を営業担当とする。また、営業の外部委託も実施。その結果、令和 4 年度 9 月より登録者が 20 名を超え、年度末には登録者 23 名となる。引き続き営業を強化し、登録率 90%以上を目標とする。

特別養護老人ホーム 若葉いこいの里

1. 職員状況

(R5.3.31 現在)

	施設長	事務長	介護支援専門	生活相談員	機能訓練指導	管理栄養士	看護師	介護職	事務員	用務員	宿直	清掃員	合計
職員数	1	0	2	3	1	3	7	44	3	0	1	2	67

※職員数は非常勤（パート職員）を含む

■令和4年度職員雇用推移 ※R5.3.31 職員在籍数⇒67名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
常勤	採用者数	3	0	3	4	2	3
	退職者数	6	1	0	4	5	2
非常勤	採用者数	1	1	0	0	3	2
	退職者数	0	1	2	3	1	1
		10月	10月	11月	12月	1月	2月
常勤	採用者数	6	0	0	1	0	0
	退職者数	4	0	0	1	2	5
非常勤	採用者数	0	0	0	0	0	0
	退職者数	0	0	2	1	0	0

■総評

オープンから丸2年経ち職員の入れ替わりは続いているが何とか人員は確保する事が出来ており組織体制も構築しつつある。令和4年11月に特定技能の外国人スタッフ3名の入職。約半年で独り立ちし今後の戦力として期待できる。今後の外国人採用に向けたマニュアル作成や指導できる人財の育成に力を入れていきたい。

ベテラン職員・リーダークラスの退職が相次ぎリーダー不在といったユニットもありスタッフの負担や不安を与えてしまったと感じている。リーダー格となる人材の確保に向けた指導を行っていく必要があり、増員に向け職員からの紹介や求人募集を大幅に広げ人員の確保に繋げていく。令和5年4月より主任を配置しユニットが抱えている問題の改善に取り組んでいる。これからは、貴重な人財に気持ちよく就業してもらえるように環境整備を整えることがより一層求められる。

		合計
常勤	採用者数	22
	退職者数	30
非常勤	採用者数	7
	退職者数	11
離職率	起算日 (R5.3.31 現在) ※常勤職員で計算	44.8%

2. 会議・委員会・研修

会議名	参加者	実施状況	内容
経営会議	本部職員/施設長/ 役職者	12 回/年	・施設運営に関する業務進捗・結果等の報告 ・検討事項の意思決定 ・運営に関する問題事項の改善論
運営会議	役職者/主任	12 回/年	・今後の施設運営に関する議案、検討 ・新入職者 OJT 導入
リーダー会議	役職者/ユニット リーダー	12 回/年	・役職者からの連絡事項 ・ディスカッション ・各専門職からの連絡事項 ・経営会議決定事項の周知
ユニット会議	ユニットリーダー /介護職員	12 回/年	・ユニットの問題定義・解決案 ・ユニット推進のための勉強会 ・24 時間シートの作成
給食会議	役職者/ユニット リーダー	12 回/年	・サンワフーズの責任者を交えた問題定義・解決案 ・介護現場との連携確認
医務会議	役職者/看護職員	12 回/年	・医務の中での問題定義・解決案 ・業務改善策の模索

委員会	実施状況	内容
入所判定委員会	適宜/年	サービスを受ける必要性が高いと認められる者を優先的に入居させるために、入居決定過程の透明性・公平性を確保し判定を行う。
事故防止・身体拘束 委員会	12 回/年	事故報告、ヒヤリの件数周知。再発防止のため事例検討会を行う。身体拘束の種類や事例検討を含めた勉強会を行う。
安全衛生委員会	12 回/年	職員健康管理・就労環境に関する事柄・施設整備に関する告
感染・褥瘡・看取り 予防委員会	12 回/年 + 随時	褥瘡ができるまでの原因を探り、ブレイデンスケールを行う。 感染症及び食中毒予防蔓延防止のために研修や勉強会を行う。 コロナの感染対策のため、随時開催をした
ケア向上委員会	12 回/年	入居者へのケアを見直し、検討・実践行う。
行事委員会	12 回/年	施設全体行事や、クラブ活動の立案・実践を行う。

■スキルアップ研修の開催

4 月	
5 月	看取り研修
6 月	感染症 食中毒の予防
7 月	接遇 ハラスメント
8 月	認知症及びケア
9 月	身体拘束の排除 人権擁護 虐待

10 月	緊急時の対応
11 月	非常災害時の対応
12 月	感染症 食中毒
1 月	倫理観及び法令順守とプライバシー
2 月	リスクマネジメント
3 月	事故発生又は再発防止

■外部研修・セミナーへの参加

4 月	
5 月	
6 月	ポジショニング研修
7 月	実務者研修（1名）
8 月	
9 月	認知症介護実践リーダー研修

10 月	喀痰吸引研修（13名） 初任者研修（1名）
11 月	救命講習会 防火管理者再講習
12 月	認知症介護基礎研修
1 月	ユニットケア施設管理者研修
2 月	毎日行うレクリエーションのコツ 支援経過記録の指導方法 労働局研修
3 月	ケアマネージャスキルチェック 実務者研修（1名）

3. 行事・レク

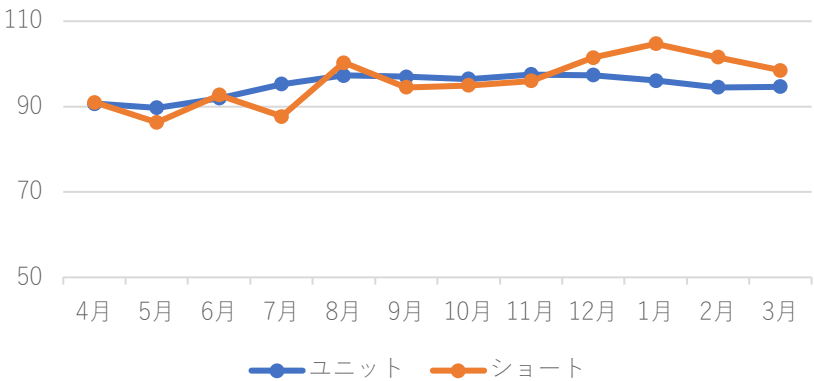
4 月	チューリップ狩り 春のパン祭り
5 月	こどもの日 プランターいちご狩り
6 月	くじ引き売店イベント
7 月	七夕 笹飾りイベント
8 月	スイカ割りイベント
9 月	敬老会
10 月	秋のバイキング祭り（昼食）
11 月	秋のパンバイキング（昼食）
12 月	クリスマス（ツリー・衣装提供）
1 月	お正月初詣イベント
2 月	節分イベント
3 月	ひな祭り（雛飾り・衣装提供）

4. 実績報告

■稼働率推移・・・安定した経営を目指すため、年間常時 95%以上

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
特養 (定員:80 名)	延べ日数	2400	2480	2400	2480	2480	2400
	稼働率	90.7%	89.7%	92.0%	95.3%	97.3%	97.0%
ショート (定員:20 名)	延べ日数	600	620	600	620	620	600
	稼働率	91.0%	86.3%	92.7%	87.7%	100.3%	94.5%
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
特養 (定員:80 名)	延べ日数	2480	2400	2480	2480	2240	2480
	稼働率	96.5%	97.5%	97.4%	96.1%	94.5%	94.7%
ショート (定員:20 名)	延べ日数	620	600	620	620	560	620
	稼働率	95.0%	96.0%	101.5%	104.7%	101.6%	98.5%

(参考) 稼働率推移

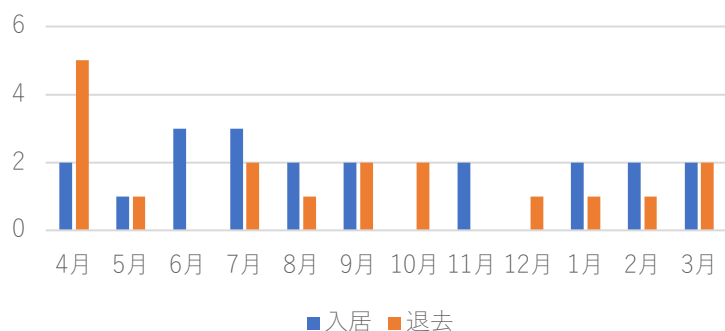


R 4 年度実績		合計
特養 (定員:80 名)	延べ日数	29200
	稼働率	94.9%
ショート (定員:20 名)	延べ日数	7300
	稼働率	95.8%

■入退去状況

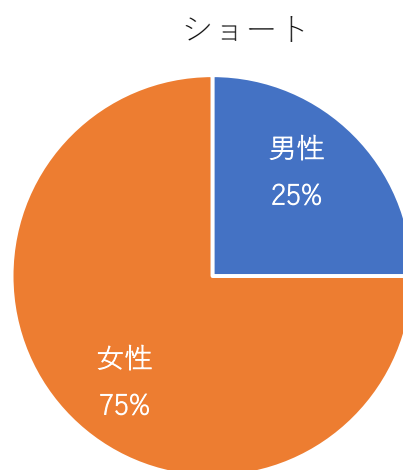
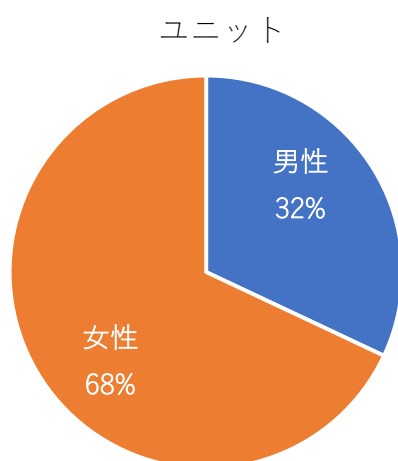
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
特養	入居	2	1	3	3	2	2
	退去	5	1	0	2	1	2
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
特養	入居	0	2	0	2	2	2
	退去	2	0	1	1	1	2

(参考) 入退去者数推移

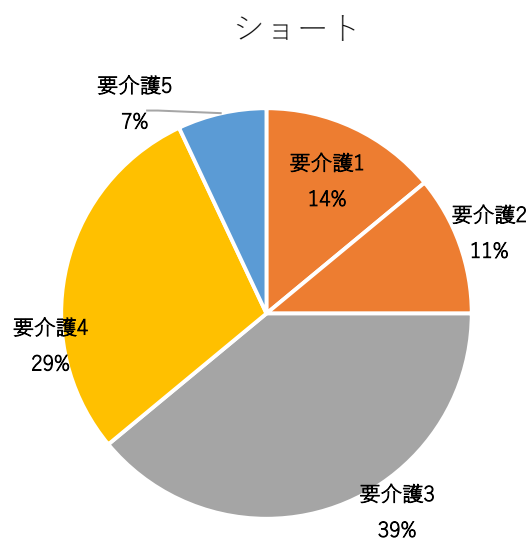
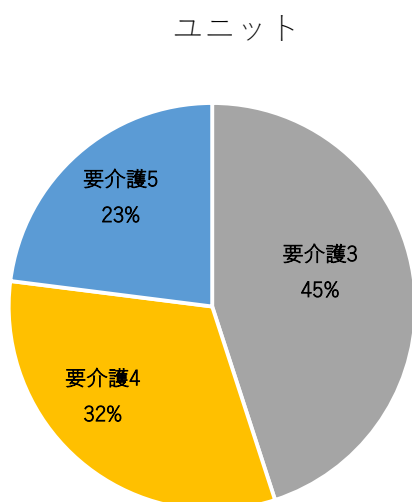


R 4 年度入退去者		合計
特養	入居	21
	退去	18

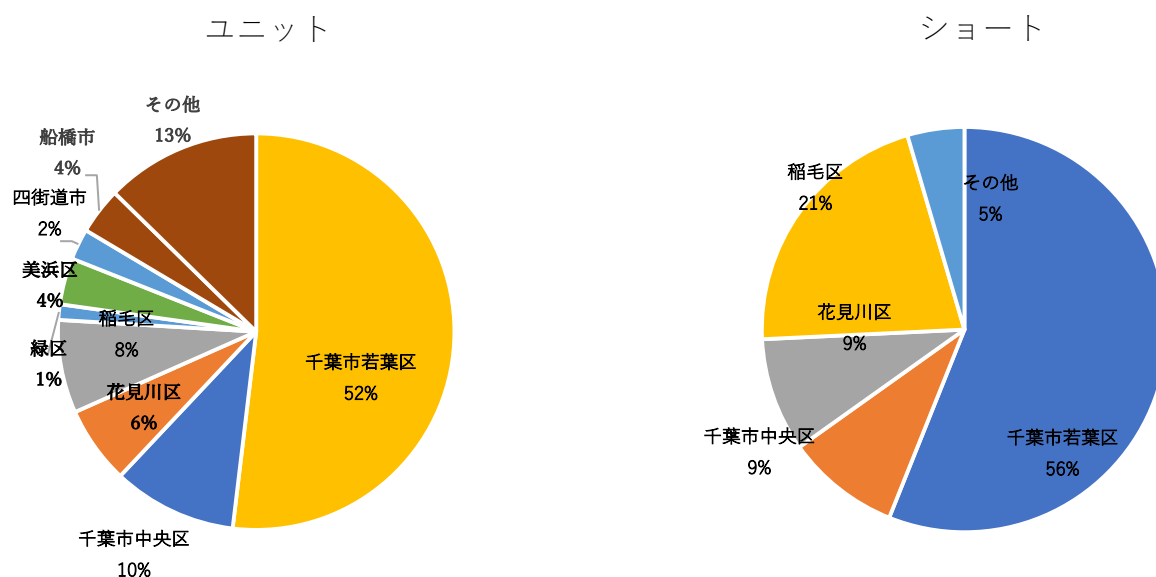
■入居者（利用者）男女割合（R5.3.31 現在）



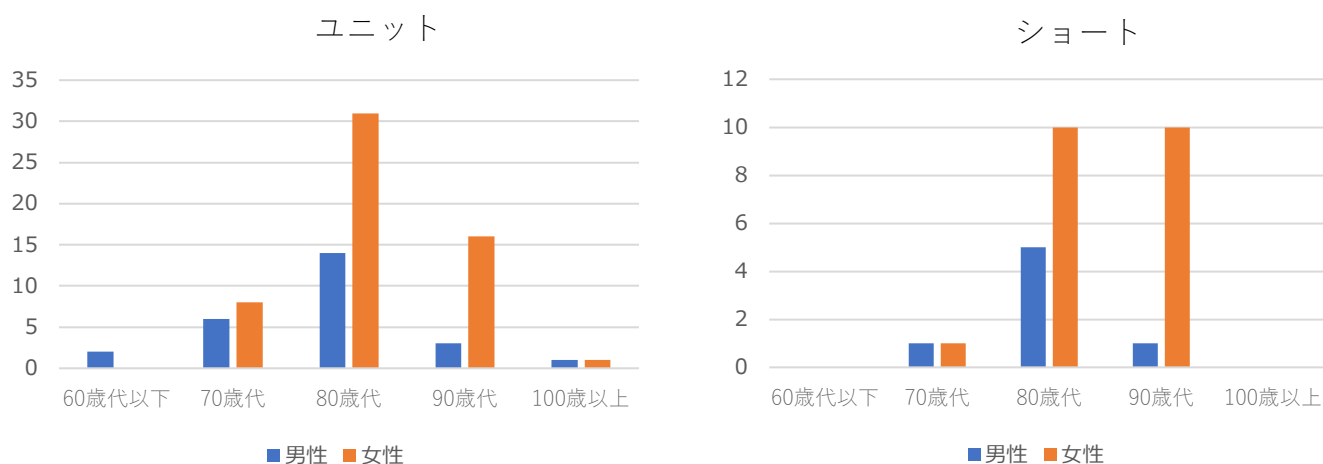
■入居者要介護割合（R5.3.31 現在）



■保険者別入居者（利用者）割合（R5.3.31 現在）



■入居者（利用者）男女年齢別状況（R5.3.31 現在）



■総評

令和4年7月と11月にコロナ感染によるクラスターが発生。保健所からの指導を受け、対策方法が明確になった事もあり、感染ユニット職員への負担は大きかったが2か月程で終息する事が出来た。職員全員が感染対策方法を学び実行した結果と感じている。令和5年4月よりご家族と入居者の面会を開始した。ご家族との交流ができる事で入居者様のストレス軽減になっていると感じた。

4年度の特養平均稼働率は95%を維持する事が出来た。近隣には新規オープンの施設も増えてきており、入居者の取り合いも感じられたが幸い施設への問い合わせも多くスムーズに入居に繋げる事が出来たと感じている。またショートステイにおいては稼働100%を超える月が多くあり相談・介護職員等の頑張りは評価できるものである。

令和5年度は、コロナ感染が5類に移行となるが引き続きマスク着用・手洗い・うがいなどの感染対策は徹底して行っていく。また居室面会や外出などの出来る工夫をし、入居者やご家族に満足してもらえるような支援を目指したい。今年もコロナ関連に振り回された1年であったが、来年度は入院させない介護および看取りの強化を行い、特養の稼働を安定させていきたい。ショートステイにおいては地域包括の一部となり、地域連携を深めていきたいと思っている。